

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名		青森県、青森市	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。
提案プロジェクト名		青い森環境未来都市プロジェクト～暮らしと環境と産業が調和した低炭素都市	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。
対象地域	都道府県名	青森県	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。
	市町村名	青森市	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。
① 関連する分野		環境（低炭素、循環） 超高齢化（健康、生涯学習、介護） その他（安定的な雇用、新産業）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。
② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
<p>青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業とエネルギー創造・利用促進プロジェクト等の他のプロジェクトを総合的に推進し、青森市全体で環境未来都市の形成を実現。</p> <p>●2050年 ～青い森環境未来都市プロジェクトにおいて、環境・超高齢化等の各問題に対応し確立された理想的な環境未来都市モデルが、国内外の都市に展開され、世界の人々に低炭素型ライフスタイルが定着している時期～この段階では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境価値の創造－地球規模での環境対策が進み、「低炭素化」や「循環型社会」が実現される。 ・社会的価値の創造－世界中で、人々の健康寿命が長くなり、「生涯現役」、「健康」等の価値が創造されるほか、多世代が協働して生きる社会が確立され、「社会的連帯感の確立」「安心安全な社会」等が実現される。 ・経済的価値の創造－新エネルギー等に関する実証研究の成果を事業化に結び付け、環境未来都市の展開による需要の創造をあわせて進めることで産業の高度化が推進され、「安定的な雇用」「新産業」が実現される。 <p>●2020年 ～2050年の姿を見据えた「環境未来都市の創成期」～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青い森セントラルパークにおいて低炭素型モデルタウンが建設され、環境未来都市としての様々な取り組みが実践されている。 ・この時期は、大学・行政・民間企業・住民が連携した体制が構築され、モデルタウンにおいて新エネルギーシステム等に関する実証研究が展開されるなど、新産業の芽が生まれている。 ・更に、エリアマネジメント組織を中心とした景観形成など、従来のまちづくりから脱却した住民主導のまちづくり活動が展開されている。 <p>●2030年 ～2020年の創成期を経た「更新期」～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官・住民連携の実証研究の成果、住民主導のまちづくりの成果等、環境未来都市の成果が形となって現れ、それが更新されていく。 ・また、地域住民で策定するルールを遵守しながら、住民が主体となってモデルタウンの更新が行われていき、環境未来都市のモデルが確立され、国内外への普及を始めていく。 <p>※提案主体(青森県・青森市)における取組の位置づけ 本取組については、地域における低炭素社会の実現を目指すため、県・市が各々に策定する基本計画(地球温暖化対策実行計画)において、それぞれ重点プロジェクトとして位置づけられているもの。「青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業」として、コンソーシアムからの提案を受ける等、取組の具体化に向けた展開を進めているところ。</p> <p>なお、青い森セントラルパークが立地する青森市域全体では、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき以下の姿を目指すこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民・事業者協働のもと、地球温暖化対策の取組を推進し、基本理念に掲げる環境負荷の少ない持続可能な都市「海と山にいだかれた自然豊かな緑と水と青空の青森市」が実現されている。 ■地域に存在するエネルギー資源を活用した新エネルギー等の普及促進や実現化に向けた取組や森林の整備による森林機能の保全と二酸化炭素の吸収源としての機能確保、廃棄物の減量化・資源化に向けた取組が展開されている。 ■自然環境の保全・改善に向けた意識啓発やごみ問題、地球温暖化問題などの取組の成果が形となって現れはじめています。 			
③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
<p>2050年の目標を実現させていくため、青い森環境未来都市では、住民と産学官が密接に連携して取り組みを推進していくこととしている。</p> <p>●環境価値の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物・街区における新エネルギーの積極的導入等により、災害時にも対応しうる低炭素街区づくりを進める。 ・街区におけるエネルギー・エリアマネジメント等の実証実験を進めることにより、世界に発信できる低炭素型モデルを構築する。 ・新エネルギーの導入や街区形成への配慮等により雪と共生する取組を進める。 <p>●経済的価値の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官が連携し、新エネルギーシステム等の実証研究を「新産業創造」につなげるほか、青い森環境未来都市の他地域への波及により需要を創造することで新産業を軌道に乗せ、「安定的な雇用」を生み出す。 ・環境価値の創造における新たな低炭素型製品の普及を促進し、「新産業創造」や「安定的雇用」を実現する。 ・青い森環境未来都市の国内外への普及を図るための仕組みを構築するほか、法制度面における制度改革を検討し、青い森環境未来都市で構築されたモデルの円滑な普及による「都市化」を図る。 <p>●社会的価値の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー等の実証研究の円滑な実施や、住民主体のまちづくりの推進のために、エリアマネジメント体制を構築し、「社会的連帯感」の醸成を図る。 ・ITを活用した健康づくりや環境教育の充実等の取り組みを実施し、健康寿命を伸ばすことで、誰もが「健康」で「生涯現役」となる社会を実現する。 			

④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	街区全体における新エネルギー等の積極的導入	地域ポテンシャルの高い木質バイオマスや雪冷熱、地中熱等の導入、また、建物への太陽光発電やパッシブデザインの導入等により、積雪寒冷地における低炭素化を進める。	H23～H27	民間企業、行政(環境整備)、大学(導入に資する実証研究の実施)	環境価値:低炭素、循環 経済的価値:新産業	○
(2)	実証実験を継続して行う産学官連携体制の構築	産学官が連携して、本地区区内で新エネルギーシステム等の実証研究を実施する体制を構築して着実に成果を出すことにより、事業化に向けたシーズを多く生み出し、新エネルギー産業の創出と地域経済の活性化、雇用の拡大につなげる。	H23～H27	民間企業及び大学(実証研究の実施)、住民(研究への協力)、行政(関係機関の調整、事業化)	環境価値:低炭素、循環 経済的価値:新産業	
(3)	住民主導のまちづくりを継続して行う体制づくり	良好な住環境の形成や持続可能なまちの実現を目指し、住民自らが、快適に住み続けるためのルール作りや、公共施設の清掃、防犯パトロール等、まちの管理・運営を行うエリアマネジメントを実施する。また、行政は、エリアマネジメントを行う組織に対し、必要な支援を行う。	H24～H27	住民・民間企業・大学(エリアマネジメント支援)、行政(支援)	社会的価値:社会的 連帯感、安心安全、 ソーシャルキャピタル	○
(4)	エネルギーマネジメントの先進的な取り組み	強靱なエネルギー供給システム、快適な利用環境の維持、及び環境負荷の低減といった互いに相反する課題の両立を目指し、電気、ガスなどのエネルギーインフラについて、個々の住宅や商業施設などにおける部分最適が、地域コミュニティ全体の最適化に繋がるようなエネルギーマネジメントシステムの構築を行う。また、制御レベル、環境対策に伴う費用負担の規模やそのあり方、新規開発都市に際しての地域住民との合意形成などの社会的受容性をあわせて検証し、海外展開への示唆を得る現実性の高いシステム構築を目指す。	H24～H27	民間企業・大学	環境:低炭素 社会的価値:新産業	○
(5)	人口減少社会における低炭素社会の普及へ向けた仕組み構築	今後、少子高齢化の進展により人口減少社会が本格化する中で、本地区において実現する低炭素型社会の国内外への波及を効果的に進めるため、法制度面における新しい仕組みを提案し、本地区において実証する。また、住民が自ら考えながらその都市像に向かって日々の生活を変えていく仕組みを提案し、本地区で実証する。	H23～H27	行政	経済的価値:人口減 少社会における都市 化	○
(6)	低炭素型製品の普及へ向けた取り組み	全国的なネットワークと連携しながら、全国への低炭素型製品普及へ向け率先して取り組む。また、太陽光発電機器等、新エネルギー機器の普及が進むよう検討を進める。	H24～H27	民間企業(機器の設置)、住民(機器使用)、行政(全国のネットワークとの連携)	環境価値:低炭素 経済的価値:新産業	○
(7)	低炭素型教育の実施による普及啓発	本地区において低炭素型ライフスタイルを実現させ、この良さを広く地区内外の方に体感してもらうことで住民への啓蒙を行うほか、低炭素社会の教育の場として活用し、低炭素社会を担う人づくりを進める。	H24～H27	民間企業・大学(教育)、行政(普及啓発)	環境価値:低炭素 社会的価値:生涯学 習、安定的雇用 経済的価値:観光	
(8)	IT等を活用した高齢者の健康づくり支援	今後、高齢化社会の更なる進展が見込まれている中、高齢となっても健康で元気に暮らしていけるよう、緑の拠点としての公園において多世代が交流できる環境整備を進める。また、医療機関と連携しながら、IT活用による健康支援や生活支援の仕組みを構築し、高齢化社会における健康で快適なライフスタイルを実現する。	H24～H27	民間企業・大学(実証研究の実施)、行政(関係機関の調整等)	社会的価値:健康、介 護、生涯現役	○
(9)	国際的な連携による最先端の研究実施と産業振興	国内外における先進的な低炭素型のまちづくりを進める都市との連携を深め、最先端の技術を活用した実証研究を相互に実施しながら高い水準の成果を生み出すとともに、事業化に向けた取り組みや需要の創出についても積極的に連携し、その相乗効果により高い経済効果を得る。	H25～H27	民間企業・大学(実証研究の実施)、行政(国内外の連携)	環境:低炭素 経済的価値:安定的 な雇用、新産業	
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容						
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。						
(1)～(4)により、産学官連携による最先端の実証実験を住民の理解を得ながら進めることができ、成果をより大きくしていくことができる。また、(5)による既存市街地の低炭素化手法の開発や、(6)のエネルギー機器の普及により、環境価値が創造されるほか、実証研究の成果の展開先が多数創出されることになり、新産業の創出や雇用の拡大につなげることができる。これに(7)をあわせて行うことにより、この地区に住む住民の環境意識が高まり、実証研究への協力が得やすくなる。(8)で、ITを活用した健康づくりを進めることにより、健康や生涯現役といった社会的価値が創造される。これらの取り組みにより青い森環境未来都市が確立され、これを(9)により国内外の各都市と連携を強化し、展開を推進することにより、世界に理想的な環境未来都市が建設されると共に、各種取り組みにおいて高い相乗効果が得られる。						